

S クリートフロー

施工要領書

**BIRCS**

株式会社バークス環境

## 概 要

S クリートフローアは高分子無機質シリコン（シロキサン）と特殊超微粒子セメントを主成分としたコンクリート床用無機質塗装材です。耐久性・透湿性・施工性に優れ、劣化し変色したコンクリート床面を美しくリフレッシュします。ベランダ、外階段、通路、駐車場、屋上などにご使用ください。

## 特 長

- 1、 水性無機質塗料ですので、臭気が無く安全です。
- 2、 超速乾性です。1～2時間で乾燥します（20℃）。
- 3、 Sクリートアップ（コンクリート改質・強化剤）とSクリートガード（浸透性撥水剤）とを併用することで、より強固にコンクリートを保護できます。
- 4、 樹脂系（有機質）のコンクリート調色材ですと、Sクリートガードの撥水力が発現できませんが、SクリートフローアはSクリートガードと同素材で形成されている為、Sクリートガードの撥水力はそのまま発現できます。
- 5、 シロキサン成分で形成されている為、浸透性に優れ、コンクリートを長期間保護できます。
- 6、 色はライトグレーになっていますが、別売りで白・黒・黄色の顔料（500g）にて調色できます。

## 施工可能な素地

コンクリート・モルタル・レンガ等

## 施工前確認事項

- 1、 下地の汚れ、カビ、レイタンスは高圧洗浄等にて除去してください。酸洗いをした場合は必ずアルカリ中和処理をしてください。アルカリ中和処理は弊社にて、SCクリーナーをご用意しております。
- 2、 雨天時の施工は避けてください。施工可能な気温は5度以上です。
- 3、 クラック・ジャンカ・爆裂などは事前に補修してください。クラックや表層劣化は弊社Sクリートクラック工法にて補修することをお勧めします。

## 施工用具

ローラー（短毛ウーローラー）・刷毛・バケツ・ハンドミキサー・計り等

## 施 工

### 1、養生

ガラス、金属、タイルその他一般的な養生をしてください。

### 2、下地処理

- ・カビ、藻、レイタンス等は高圧洗浄してください。
- ・下地コンクリート全面にSクリートアップ（改質・強化剤）を塗布してください。  
Sクリートアップは追っかけ2回塗布（200cc/m<sup>2</sup>）してください。
- ・クラックはSクリートクラック工法（別紙仕様書参照）にて補修してください。
- ・爆裂補修はペガサビン（浸透性防錆材）を使用し、セルガード工法（別紙仕様書参照）にて補修してください。

### 3、調合

Sクリートフローアー8Lに対し、添付の特殊超微粒子セメント800g、清水6～7L前後（下地の劣化状況により水量を調整します。）、液体無機黒顔料200ccを入れ、ハンドミキサーにて良く攪拌します。添付の液体無機黒顔料200ccを全て混入しますと、日塗工N-80～77程度の色合いに仕上がりますので、薄くする場合などは配合を調整してください。

### 4、本施工（塗布）

- ・中毛のウーローラーにて調合した材料を全面に均一に、おっかけにて2～3回塗布して仕上げます。
- ・Sクリートフローアーは極力下地に浸透させて定着させる材料ですので、調合した材料が固い場合は、水量を増やして調合してください。

塗布量：200～300g/m<sup>2</sup>

### 5、オプション施工

#### ① Sクリートアップ

- ・新築の場合はクラック防止・防水性向上・Sクリートフローアの接着力向上に有効です
- ・改修の場合はコンクリートのアルカリ改質・強度再発現・防水性向上などに有効です。
- ・SクリートアップはSクリートフローアの施工前に塗布します。

塗布量：200～300cc/m<sup>2</sup>（2回塗布）

## ② Sクリートクラック工法

- ・クラックをUカットせず目立たなく補修できます。(注入工法)
- ・表層劣化がありザラザラになっている箇所や、ヘアークラックの補修ができます。  
(表面被覆工法)

## ③ ペガサビン・セルガード工法

- ・コンクリートの鉄筋の錆が懸念される場合は、コンクリート表層からペガサビンを塗布することで、防錆処理が可能です。塗布量：300～400 cc/m<sup>2</sup> (2回塗布)
- ・爆裂補修の際もペガサビン・セルガード工法 (モルタル混入工法) が有効です。

## ④ Sクリートガード

- ・Sクリートフロー施工後に塗布することにより、防水・防汚・防カビ・保護効果が大きく向上します。塗布量：150～200 cc/m<sup>2</sup> (2回塗布)